



# ひいの子

## みなさんは、どれを選びますか？

～東京オリンピック・パラリンピック  
マスコット投票 斐伊小学校の結果は～



伝統の市松模様  
と近未来的な世  
界観  
市松模様と桜を  
力強く表現

**5票**

福を呼ぶ招き猫  
とキツネがモデ  
ル  
神社にあるこま  
犬がモデル

**2票**

キツネに日本古  
来の勾玉の模様  
日本古来の化け  
るタヌキ

**2票**

斐伊小学校では、「ア」が一番となりました。  
19日(火)の山陰中央新聞において、島根県内8  
市の小学生100人への聞き取り調査でも「ア」  
が一番人気となったと記事が載っていました。

東京2020大会のマスコットは、全国の小学  
校において、学級ごとの投票で決められます。過  
去の大会になかった、史上初めての小学生が選ぶ  
マスコットになります。

投票は12月11日から2月22日まで受け  
付けられ、3月末までには結果が発表されます。

斐伊小学校も早速大会マスコット投票用サイ  
トに各学級の投票結果(左記)を入力しました。

マスコットはオリンピック・パラリンピックの  
ビジョン(目的)やバリュー(価値)に加え、開  
催国の文化や魅力を紹介する存在として重要な  
役割を果たします。

### オリンピック

ビジョン: スポーツを通じ、より良い世界の構  
築をすること

バリュー: Excellence 卓越、Friendship 友情  
Respect 敬意/尊重

### パラリンピック

ビジョン: パラアスリートが、スポーツに於け  
る卓越した能力を発揮し、世界を鼓  
舞し興奮させることができるよう  
にすること

バリュー: Courage 勇気 Determination 強  
い意志 Inspiration インスピレー  
ション Equality 公平

学級でマスコットを一つ決めることを通して、  
①オリンピック・パラリンピックの理念及び大会  
マスコットの役割について理解を深めることが  
できるようにする。

②クラスで一つのマスコットを選ぶ活動を通し  
て、2020年東京オリンピック・パラリンピック  
競技大会への参加意識を啓発するとともに、オ  
リンピック・パラリンピックについての関心を  
一層高めることができるようにする。

を目標とされています。

果たして、「ア」「イ」「ウ」、どのマスコットに  
決定するでしょうか。ご家族でも意見の分かれる  
ところではないですか？

ちなみに、斐伊小学校での選考理由は以下の通  
りです。

### 「ア」を選んだ理由

【1年】がんばろうの気持ちが伝わってくる。や  
る気が出る。がんばろうのポーズがかっこいい。

【2年】目の桜が、日本らしくてかわいい。

【なかよし】イはポケモンみたいで、ウはようか  
いウォッチみたいなので、アがいい。

【3年】頭にエンブレムがついていて、かっこいい。

#### 「イ」を選んだ理由

【4年】スポーツが得意そうな感じがする。

【5年】目にオリンピックの色があり、オリンピックに合う。神社のこま犬のイメージがあり、日本らしい。

#### 「ウ」を選んだ理由

【6年】たぬきときつねは昔話でよく出てきて、日本の感じがする。応援団みたいで、選手の力が出そう。

【6年】人形の中に人が入るとき、頭がでかいとバランスをとりにくそう。ウだとバランスがとりやすそう。

### 斐伊のよさを見つけてみないかい(会)

12月9日(土) 斐伊交流センターにて

「今年1月に三刀屋町で『三刀屋のよさを見つけてみないかい(会)』というイベントを行い、『三刀屋のいいところ新聞』を作成した。イベントを行って、三刀屋の歴史やよいところを改めて知ることができた。

ぜひ斐伊でも同じイベントをしたい。イベントを通して、斐伊のよさを知り、みんなで共有したい。だから、斐伊小学校の児童に会のお知らせをしてもらえないか。」

と、11月初めに一人の高校生が職員室に来ました。

三刀屋高等学校2年 小村優希さんです。斐伊小学校の卒業生です。(卒業時の担任は、伊藤教頭です。)このイベントは授業とは全く関係ないところでしていること。斐伊地区や雲南市のために自分で何かできることはないか考えているということを知りました。

当日は、小村優希さんと藤原優花さん(三刀屋高等学校1年 三刀屋町)2人で会が進行されました。

参加は、小学生2名、高校生1名、大人6名でしたが、楽しく意見交換をし「斐伊の良いところ新聞」を作成しました。

斐伊について語り合う中で、地元斐伊との関わりを振り返る貴重な時間となりました。参加した小学生2人にもとても楽しい時間になったよう

で、「次は、いつしますか?」と小村さんに聞いていました。



仕上げた「斐伊の良いところミニ新聞」を発表している多根百々星さんと佐藤野乃華さん

私の高校時代を思い出しますと、勉強や部活、自分のことで精一杯でした。小村さんが考えていたようなことは、到底思いも及ばなかったことです。ちょっとでも思ったとしても、実行しようとは考えもしなかったこと

です。

私は、そこに小村さんのすばらしさを感じました。小さな実行、実践(決して小さくはないのですが)であっても、必ずそれは繋がり、積み重なり、大きな動きとなると感じました。

### おいしい給食をありがとう!!

12月12日(火) 感謝会給食

12月12日(火)、毎日の給食でお世話になっている皆様においでいただいて感謝会給食を行いました。いろいろなお話をしながら会食をした後、栄養教諭の坂根先生から出されたクイズを楽しみました。そして、生産グループ代表 勝田ツ子コ様のお話を聞きました。

「本物のブロッコリーの味、本物のにんじんの味を口で覚えておいてほしい。みんなにおしく食べてもらいたいから、歳をとって大変だけどがんばって作っています。」と話してくださいました。

食は、すべての土台になります。子どもところに育てられた食の知恵は、一生ものであり、確かな生きる力になると改めて感じました。

また、給食センター長 宇都宮様からは給食をおいしくするための工夫や努力についてお話していただきました。

木次町の給食には、子どもたちが大好きなデザート



がよく付きます。これは、野菜生産グループより新鮮な野菜を安く提供されることによってできていることと、栄養教諭の坂根先生から聞きました。ありがたいことです。

ほそぎじゅん子さんへ

いつもモロヘイヤとじゃがいもとネギを作ってください、ありがとうございます。わたしはじゃがいもがきらいだったけど、食べたらおいしかったです。これからよろしくおねがいします。

野さいはほとんどきらいだったけど、すきになりました。いつもありがとうございます。

今日もなんのごはんかな。楽しみです。



2年 河角芽那

おいていただいた皆様

野菜生産グループの皆様

大坂琴江様 大坂 進様 勝田ツ子コ様  
吉川一江様 佐藤稔子様 佐藤良子様

給食センター・給食雲南の皆様

宇都宮正様 岡田早紀様 若槻佳美様

栄養教諭

坂根百合子様

●●あいがとう交流会(5年生)●●



12月19日(火)、5年生はお世話になった米作りの先生、ミシンの先生を招いて「あいがとう交流会」を行いました。

できたお米を炊いてつくったおにぎりと家庭科で学習したみそ汁で、おもてなしをしました。剣玉やお手玉で遊び、歌を歌いました。

おいていただいた皆様の笑顔を見て、子どもたちはとっても嬉しかったようです。

来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

おいていただいた皆様

秋山悦子様 足野隆二様 加本孝之様  
小林喜好様 佐藤富江様 高橋恵美子様  
高橋 一様 松尾千恵子様 渡部昭義様

『いかのおすし』の横断幕を掲示して、不審者にあった時の対応方法を日頃から児童に意識してほしいという地域安全推進協議会木次連絡会 曾田耕市会長の提案で、雲南警察署管内全29校に横断幕が贈呈されることになりました。

管内全小学校に先がけて、斐伊小学校で12月7日(木)に贈呈式が行われました。松岡日出夫署長をはじめとした雲南警察署の皆様、雲南地域安全推進員協議会の皆様、雲南市教育委員会の皆様においていただきました。

【以下の記事は、山陰中央新報12月10日の記事】



「いかのおすし」が書かれた横断幕を児童代表らに手渡す松岡日出夫署長(右端)

身を守る「いかのおすし」

小学校に横断幕贈る

雲南署など

雲南市と奥出雲、飯南両町の児童の登下校中に役立つてもらおうと、雲南地域防犯連合会と雲南建設業防犯協力会、雲南署などが、子どもが身を守るための合言葉「いかのおすし」が書かれた横断幕を作製した。このほど、同市木次町里方

雲南署に提案した。縦40センチ、横150センチ。雲南署に提案した。

斐伊小であった贈呈式で雲南署の松岡日出夫署長が児童代表らに手渡した。6年生の広野勇也君(12)と古藤敬吾君(12)は「『いかのおすし』を守り、毎日安全な登下校をする」と決意を示した。(奥原祥平)

雲南署など 雲南署を訪問し、手渡した。1市2町の他の小学校28校にも贈る。横断幕の作製は、雲南地域安全推進員協議会木次連絡会の曾田耕市会長(69)が、不審者に遭遇したときの対応方法を児童に日頃から意識してほしいと考え、雲南署に提案した。

「のらない」「すぐにはける」といった合言葉の頭文字の意味を、イラストを交えて説明している。学校のフェンスなど通学路の目立つ場所に掲げてもら

## ● ●受賞 おめでとう

### かんぱいしました● ●

#### 市図画作品展

##### 県特選

- 3年 山本あおい  
4年 佐藤野乃華  
5年 安部萌々夏 奥井 優子



※ 県特選作品は、平成29年度全島根小・中学校  
図画作品展において、展示されます。

会場：島根県民会館 展示ホール・第1・第2多  
目的ホール

会期：平成30年1月12日(金)～14日(日)

10:00～18:00 14日は10:00～15:00

##### 県入選

- 1年 炭谷 寛太  
2年 足野 楓 石橋 晨 石橋 壇  
妹尾 のん  
3年 安部きりあ 西村 悠斗 高橋 りりあ  
4年 落海 詩門 勝部 太誠 佐々木秀人  
5年 安部 琉生 今岡 楓芽 内田 寛栄  
高橋 成維 森 聡太  
6年 古藤 敬吾 佐藤 彪大

##### 市入選

- 1年 糸川 健欠 今岡 晴也 水沼 和輝  
佐々木亮祐 鶴原 一輝 原 葉捺  
松本 龍斗  
2年 飯塚 納央 河角 芽那 橋本 琉希  
森 瞭太 吾郷 煌介 勝平 翔大  
松島 永典  
3年 亀山 真弓  
4年 佐藤 亘 多根百々星 原 美月  
5年 多根 直幸  
6年 伊藤 誠斗 藤原 有希 細木 和華

#### 市読書感想文コンクール

##### 優秀賞

5年 陶山 結斗 「本当のぼくは」

##### 優良賞

- 1年 佐伯 直柔 「おおきくなるってうれしいよ」  
2年 橋本 琉希 「すばこ」



- 3年 高橋 りりあ 「メルを大事に育てるよ」  
4年 中井 涼葉 「チャイプとしあわせのおかし」  
を読んで  
6年 廣野 勇也 「二分間の冒険」から  
もらった力

## ● ●ありがとうございました● ●

#### ◇出雲市斐川町 小村光寛様

図書カード 50,000円分

12月1日、雲南市内の小中学校6校に小村光  
寛様よりご寄付いただきました。斐伊小学校は、  
その中の1校としてご寄付を受けました。学校図  
書館の蔵書充実に大切にに使わせていただきます。  
ありがとうございました。

#### ◇斐伊小学校 児童・保護者の皆様

赤い羽根共同募金 19,213円

#### 平成30年1月 行事予定

- 9(火) 始業式  
10(水) 給食開始 集金日  
11(木) 運動器検診フォローアップ教室(5・6  
年)  
16(火) 1月計算会  
17(水) 栄養教諭学校訪問(食に関する指導  
2・6年)スクールカウンセラー来校日  
19(金) 全校朝礼  
22(月) お弁当の日  
23(火) 研究授業(なかよし) 1月書き取り会  
24(水) 町内小学校6年生交流会(木次小)  
中学校入学ガイダンス(木次中)  
25(木) 運動器検診フォローアップ教室(5・6  
年)  
26(金) 中部ブロック合同学習会(ひまわり、  
にこにこ、なかよし)



来る新年も、どうぞよろ  
しくおねがいします。